

農作物の生育状況

基幹作物の水稲は、田植え後の低温の影響により莖数がやや少なめで軟弱な状態にあります。しかし、穂が出た平均日は、六月中旬以降の気温が高めに推移したことにより、平年より二日早い八月十五日となりました。また、心配されていましたが「いもち病」も適期防除の実施により発生も少なく、現時点ではおおむね昨年並みの作

柄が予想されているところです。

果樹は、開花期には比較的天候に恵まれましたが、七月中旬以降気温が高めに推移したことから、品種によっては品質にバラツキが見られます。収量的にはおおむね昨年並みと予想されています。

また、野菜については、春先の天候不順により農作業が遅れましたが、その後の天候回復により持ち直したところであります。ただ、八月上旬の集中豪雨により、露地野菜の一部にすり傷などの被害が発生

しています。

今後とも収穫期における気象の変動が予想されますので、気象情報に注意しながら、関係機関と連携を図りながら、指導を徹底していきます。

降雨災害について

八月四日から五日にかけての集中豪雨では陣場で百十三ミリの雨量を記録し、農地や道路などに被害が発生しています。

農地及び農業用施設では、八カ所で被害を受け、七百十萬円の被害額となっています。また、土木施設では、道路四カ所、河川一カ所で被害があり、三千萬円の被害額となっています。このほか、市営餅田住宅北側の傾斜地の崩壊など四カ所で約七百萬円の被害を受けています。

これらの復旧につきましたは、国の災害査定を受け次第、早急に工事に着手したいと考えています。

都市計画道路大館駅・東大館線道路改良事業

都市計画道路大館駅・東大館線の道路改良事業については、平成七年度から十三年度までの七カ年

事業として認可をいただき、国道

7号との交差部分から東大館駅前まで延長四百八十六・七メートルについて、幅員二十二メートルの計画で改良を進めているものです。今年度までは、用地買収及び補償が主であり、昨年度末までの用地買収は約二五％となっており、今年度末には約五〇％に達する見込みとなっています。

なお、来年度も引き続き用地の買収などを進めるとともに、国道7号から弁天町通りまでの一部について工事に着手し、平成十一年度の暫定使用開始を目指したいと考えています。

その他の行政報告

- ▽大館樹海ドーム・オープニングフェスティバル
- ▽大館能代空港開港記念イベント実行委員会の設立
- ▽ダイオキシン対策
- ▽平和祈念・戦没者慰霊式
- ▽秋田県北部老人福祉総合エリア（仮称）整備事業
- ▽97大館大文字まつり
- ▽農地の転用問題
- ▽市立総合病院のスリッパ廃止
- ▽公共事業の発注及び進展状況

